

「私たちを贖うために人となられた」

神の寛大さに驚嘆しなさい。私たちを贖うため、そして無に等しいあなたと私が—これを認めて当然だと思うが—、信頼をもって接することのできるよう、神は人となってくださったのである。（鍛30）

12月23日

「今は、光がわれらの上に輝く。主が生まれ給うたからである」（イザ

ヤ9・2)。これは、キリスト信者を感動させるのみならず、信者を通して全人類に伝えられるべき偉大な知らせです。神が私たちの間におられます。この事実を前にして、私たちの生活は喜びに満たされるはずで
す。降誕祭が訪れる毎に、私たちは神との新たな特別の出会いの時をもち、神の光と恩恵が心の奥底まで注がれるはずだからです。

幼子と聖母マリア、聖ヨセフを前にして、私たちは人となり給うた神の御子を眺めています。深いわけが
あって、一九五一年八月十五日、イタリアのロレットにある聖家族の家を訪問したときのこと
が思い出されます。そこでごミサをたてました。ゆっくりと心を込めてごミサをたてるつもり
だったのですが、信仰熱心な群衆のことを忘れていました。この大祝日にはその地方特有の
深い信仰と〈マドンナ〉への愛から、付近の大勢の人々がロレットに来ること

を忘れていたのです。典礼法規の面からだけ判断するならば、必ずしも適切とは言えなかったのですが、人々は深い信仰を外的に表していました。

ルブリカ(ミサの式法)に従って私が祭壇に接吻しているとき、三、四人の農家の人たちも同じことをしていたのです。その人たちに気をとられてしまいましたでしたが、同時に心打たれました。そのとき、また、イエス、マリア、ヨセフが住んでおられたと聖伝が証しするこの聖なる家の祭壇に、「ここにおいてみことばは人となり給えり」と記された言葉を考えていたのです。私たちが住んでいるこの地球の片隅の、人の手に成るこの家に、神はお住まいになったのです。(知識の香12)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/dailytext/Watashitachi-wo-Aganau-tameni-Nintonarareta/> (2025/08/12)